

## 予 算 委 員 会 会 議 録

- 1 . 日 時 平成 2 5 年 1 月 1 7 日 ( 木 曜 日 )  
午後 1 時 3 2 分 ~ 午後 1 時 4 5 分
- 2 . 場 所 委 員 会 室
- 3 . 出席委員 高 木 法 生 委 員 長 下 井 克 己 副 委 員 長  
竹 岡 昌 治 委 員 徳 並 伍 朗 委 員  
荒 山 光 広 委 員 西 岡 晃 委 員  
河 本 芳 久 委 員 岩 本 明 央 委 員  
山 中 佳 子 委 員 三 好 睦 子 委 員  
萬 代 泰 生 委 員 岡 山 隆 委 員  
馬 屋 原 眞 一 委 員 俵 薫 委 員  
坪 井 康 男 委 員 秋 枝 秀 稔 委 員  
猶 野 智 和 委 員 秋 山 哲 朗 議 長  
村 上 健 二 副 議 長
- 4 . 欠席委員 な し
- 5 . 出席した事務局職員  
石 田 淳 司 議 会 事 務 局 長 岩 崎 敏 行 議 会 事 務 局 補 佐  
岡 崎 基 代 議 会 事 務 局 主 査
- 6 . 説明のため出席した者の職氏名  
村 田 弘 司 市 長 林 繁 美 副 市 長  
波 佐 間 敏 総 務 部 長 倉 重 郁 二 総 務 部 次 長  
奥 田 源 良 総 務 部 次 長 田 辺 剛 総 合 政 策 部 長  
篠 田 洋 司 総 合 政 策 部 次 長 末 岡 竜 夫 総 合 政 策 部 地 域 情 報 課 長  
福 田 和 司 市 民 福 祉 部 長 白 井 栄 次 市 民 福 祉 部 高 齢 福 祉 課 長  
伊 藤 康 文 建 設 経 済 部 長 前 野 兼 治 建 設 経 済 部 建 設 課 長

午後 1 時 3 2 分開会

委員長（高木法生君） 只今より予算委員会を開会いたします。先程の本会議におきまして、本委員会に付託をされました議案第 1 件につきまして審査をいたしますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

それでは議案第 1 号平成 2 4 年度美祢市一般会計補正予算（第 6 号）を議題といたします。執行部より説明を求めます。はい、末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 議案第 1 号平成 2 4 年度美祢市一般会計補正予算（第 6 号）について説明をいたします。補正予算書の 1 - 1 0、1 1 ページをお開き願えたらと思います。

款総務費・項総務管理費・目スプリング美祢推進費、節備品購入費といたしまして、1 3 0 万 2 , 0 0 0 円を計上しております。

これは、1 2 月議会におきまして、指定管理者の議決をいただきました美祢市地域交流ステーション於福、厚保、それぞれ 2 箇所でございますが、ここにおきますテーブル、イス、ホワイトボードなどの備品に要する費用でございます。

委員長（高木法生君） はい、白井高齢福祉課長。

市民福祉部高齢福祉課長（白井栄次君） 続きまして、その下の第 3 款民生費・第 1 目社会福祉費についてご説明を申し上げます。

第 3 目老人福祉費、第 2 8 節繰出金におきまして、3 2 0 万 8 , 0 0 0 円の増額補正を行っております。

内容につきましては、右の説明欄のとおり介護保険事業特別会計繰出金でございます。

現在、厚生労働省では要介護認定情報と介護給付費請求等の情報を総合的に管理する介護保険総合データベースの構築を進めており、平成 2 5 年 4 月からの運用に向けて新たな認定ソフトの無償配布を行っておるところでございます。

このことに伴いまして、平成 2 4 年度中のシステム改修が必要となりますことから、これに要する経費として、3 2 0 万 8 , 0 0 0 円を介護保険事業特別会計において計上し、これに充てる財源として同額を本会計より繰り出すものでございます。以上でございます。

委員長（高木法生君） はい、前野建設課長。

建設経済部建設課長（前野兼治君） 続きまして、その下でございます。

11款災害復旧費・2項土木施設災害復旧費・1目単独災害復旧費について、1,930万円を増額し、土木施設災害復旧費の総額を5,285万円とするものです。

右のページの説明欄の001現年発生災害復旧費のうち、測量設計業務委託料として220万円を、工事費といたしまして1,600万円、そして立木補償及び電柱の移転補償費として110万円を増額補正するものでございます。

これは、昨年11月30日から12月1日にかけて、市道麦川桃の木線で発生をいたしました山の斜面崩落によって、市道の通行に支障を及ぼしておる災害でございます。場所につきましては、平原から桃の木へ抜ける市道でございます。

平原から桃の木へ向かって、左側の山の斜面ですが、現場においては岩盤地帯であり、高さ10m、幅10mに渡って、主に岩石が市道の片側に崩落したものでございます。

現在は、大型土嚢と信号機を設置いたしまして、片側交互通行としております。崩落した原因につきましては、災害のあった12月1日以前に主だった雨量はありませんでしたので、切土による経年の降雨や風化・浸食によって、岩盤に亀裂が開いたしまして、緩みが発生し、これらが進行して崩落に至ったものというふうに考えております。以上でございます。

委員長（高木法生君） はい、奥田総務部次長。

総務部次長（奥田源良君） 続きまして、歳入のご説明をいたします。議案書は一枚前に戻って頂きまして、1-8ページ、9ページでございます。

10款地方交付税で普通交付税を2,381万円増額しております。今回の補正にかかります一般財源でございます。以上で議案第1号の説明を終わります。

委員長（高木法生君） 説明が終わりました。本案に対する質疑はございますか。

はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） それではまず始めに、1-10、11にありますスプリング美祿推進費ということで、駅舎於福と厚保と言われましたけど、駅舎地域交流ステーション事業として130万2,000円ということで、これは村田市長がこの美祿市を元気にさせていくと、そういったことへの先行投資であるとは思っております。いずれにしてもその備品については、テーブル、イス等、概略説明がありましたけれども、今後、今回は130万ついています。

今後ともこういった事業というものに対して、備品等の購入に対して、毎年継続して、100万程度の予算を組んでいかれるのか。

それともう一点は、この交流ステーション事業としての今後のあるべき姿というのを、こういった形を目指されているのかどうか、この二点について先ずお尋ねしたいと思います。

委員長（高木法生君） はい、末岡地域情報課長。

総合政策部地域情報課長（末岡竜夫君） 岡山委員のご質問にお答えいたします。備品の購入というものに限りましては、この厚保、於福の地域交流ステーションについては、毎年あるものではございません。ここで初期の段階で、このような備品を調達したいという思いであります。

それと交流ステーションのあるべき姿ということでございますが、これにつきましては、それぞれの施設におきまして条例制定をしております。その条例制定の中で、地域交流ステーションというものは、これ条例を読み上げさせていただきますが、設置目的といたしまして、地域コミュニティ活動を促進するとともに、地域とJR美祿線利用者との交流を促進することにより、JR美祿線の利用拡大を図り、もって地域振興に資するためと、このような目的でこの地域交流ステーションを運営していきたいと思っております。

細かな活動内容につきましては、指定管理者の指定を頂いた12月議会の時にそれぞれの申請書に書かれた、どういうことをするのかというようなことがありましたが、それぞれの団体の活動内容に伴って、市も全面的にバックアップして支援をしていきたいというふうに考えております。以上です。

委員長（高木法生君） はい、岡山委員。

委員（岡山 隆君） それで条例制定ということで、今後今回のような形で交流ステーションを更にグレードアップさせていくにあたって、今回備品購入等で費用をかけましたけれども、今後そういった要請等、要望等があった時には、更に予算を継続的にやるということではなかったですけども、今後そういった要請があった時には予算を組んでいかれるのかどうか。そして確実にJRとしっかりと、乗られる方が10年後、5年後しっかりと増えていくような、こういった方向でないと思いませんか。その辺のお考え等、再度二点お尋ねしたいと思っております。

委員長（高木法生君） はい、村田市長。

市長（村田弘司君） 岡山委員のご質問ですが、指定管理に市のほうでお出しをして、地域の協議会に受けていただいて運営をするという形をとっております。しかしながら指定管理者制度ですから、建屋、それから備品等につきましては、市のほうで面倒を見させていただくというのが本筋でございます。従いまして、事業を実施していただく初期の備品等については今回やらせて頂きました。

今、末岡課長のほうから申し上げましたけれども、JRの利用促進ということも一点あります。それはもちろんあるんですが、私が考えておるのは、利用促進を通じることによって、地域が持つておる力を発露して頂きたいと。今それぞれの地区集落が疲弊をして気が沈んでおって、これではこの地域がもたないんじゃないかという思いを持っておられるところがたくさんございます。たまたま美祢線の駅があるということをもって、それを活用して、その地域で団結して、今後のその地域の振興策を導き出して欲しいという試みです。

ですからいろんな地域ですね、駅がないところも、その地域を持つておられるいろんな宝物があると思います。ですから今回はそういうふうな自分のところにあるいろんな資源、資材をいかして地域を振興させていただくということの、ある意味社会実験だろうというふうに思っております。

ですから、これが成功に導くように、市として努力を重ねていくというのが、もちろん市議会のご理解を得て、そのために今後活動を更に活発化される上において、更なる何か備品等が必要であるということがあれば、その時には十二分に受けて頂いておる協議会のほうと協議をいたしまして、どうしても必要であれば我々行政執行部のほうで、それをこの議会のほうにまたお諮りをして、議決を頂戴して執行したいと思っておりますけれども、むやみにこれを買うあれを買うということは、一切いたすつもりはございません。以上です。

委員長（高木法生君） よろしいですか。ほかにご意見ございませんか。はい、三好委員。

委員（三好睦子君） 駅舎の地域交流ステーションの事業なんですが、ちょっとお尋ねしたいんですが、2箇所です、3,000万円の予算が組まれています、1箇所1,500万ですが、このトイレ改修と内装でトイレがどのくらいで、内装がどのくらいでとわかりますでしょうか。

委員長（高木法生君） きょうはその補正は出ておりませんので、回答できませ

ん。はい、三好委員。

委員（三好睦子君） ほかの件でお尋ねします。災害復旧工事ですが、この工事の工法と言うんですかね、吹き付けなんでしょうか、それともコンクリートでこういったますでやられるのでしょうか。お尋ねします。

委員長（高木法生君） はい、前野建設課長。

建設経済部建設課長（前野兼治君） 三好委員の質問にお答えいたします。今考えておりますのは、崩落した部分以外にも結構岩盤に亀裂が入っておりまして、従いまして、法面全体的に切り直して、その後モルタル吹き付けによって復旧しようというふうに現時点では考えております。

委員長（高木法生君） よろしゅうございますか。ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高木法生君） それでは本案に対するご意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高木法生君） それではこれより議案第1号平成24年度美祢市一般会計補正予算（第6号）を採決いたします。

本案について原案のとおり決することにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高木法生君） 全員異議なしと認めます。よって議案第1号は原案のとおり可決されました。

その他委員の皆様から何かございましたらご発言をお願いいたします。他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（高木法生君） ないようでしたらこれにて本委員会を閉会をいたします。ご審査、ご協力誠にありがとうございました。お疲れ様でございました。

午後1時45分閉会

---

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成25年1月17日

予 算 委 員 長      高 木 法 生